

# 財政健全化計画等執行状況報告書

## 1. 基本的事項

団体名	茨城県南水道企業団	会計名	上水道事業	団体担当者	
承認年度	平成19年度				

## 2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	64.0	62.0	2.0	69.0	7.0	a
④ 改善額	421.0	699.0	▲ 278.0	189.0	▲ 510.0	a
⑤ 公営企業債現在高	6927.0	4281.0	2,646.0	2827.0	▲ 1,454.0	a
⑥ 累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	a
				総合判定		a

## 3. その他

### (i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成 20年 6月 公表 (  )・広報紙・その他【 】 )  
 執行状況:平成 21年 9月 公表 (  )・広報紙・その他【 】 )

### (ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成 20年 2月 説明  
 執行状況:平成21年11月 説明

### (iii) 平成22年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ( )
  - 工業用水道事業
  - 都市高速鉄道事業
  - 下水道事業 ( )
  - 病院事業
  - 介護サービス事業
- 提出予定なし



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for the response to item (iii).

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for the response to item (iv).

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for the response to item (v).



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

団体名	茨城県南水道企業団
会計名	上水道事業

類型	a
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	3,234	4,525	4,947	6,092	6,927	2,827
実績(見込)値(B)	3,167	3,290	4,377	4,368	4,281	
乖離値(C) (A-B)	67	1,235	570	1,724	2,646	▲ 1,454
乖離率(D) (C/A)	2.1%	27.3%	11.5%	28.3%	38.2%	-51.4%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for input.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for input.

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for input.

団体名	茨城県南水道企業団
会計名	上水道事業

類型	a
----	---

⑥ 累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	-	-	-	-	-	-
実績(見込)値(B)	-	-	-	-	-	-
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度					
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--